



株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

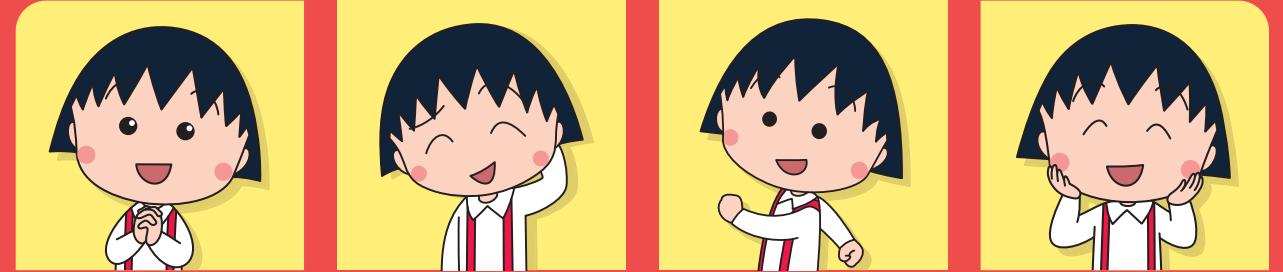
TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

- この冊子では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

ちびまる子ちゃん 「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中!

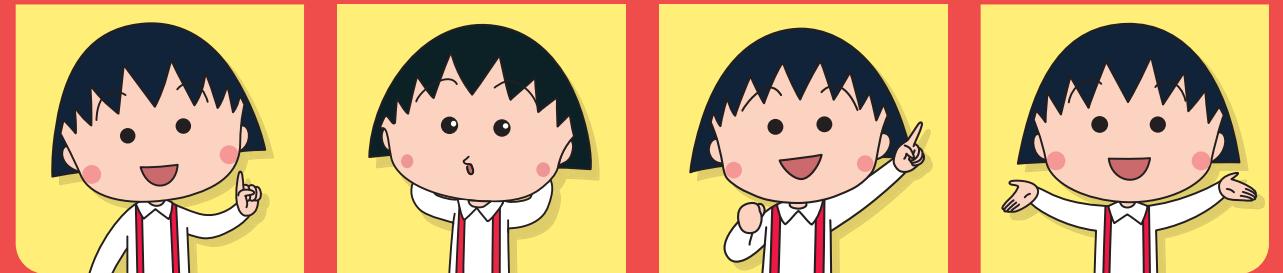
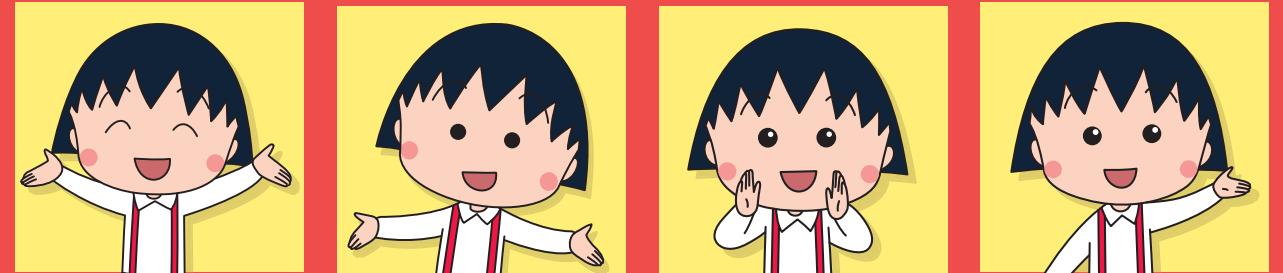
©さくらプロダクション/日本アニメーション



▲ 株式会社ミツウロコグループホールディングス
証券コード: 8131

第115期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



Investors' Note ~Mitsuuroko Overview~ 115th

感動を、次々と。

Every Day, Special!

ミツウロコグループの事業領域

エネルギー事業

LPガス、石油製品をはじめ、自動車用のLPガス、液化天然ガス、さらに、住宅設備機器の販売・施工、通信サービス“ミツウロコ光”、固形燃料、太陽光発電システムやリチウムイオン電池、家庭用燃料電池など様々な事業を行っています。

フーズ事業

清涼飲料水の製造・販売、飲食店や施設内販売・カフェテリアの運営、デリカテリア(MG直営店)およびポランタリー・チェーンストア、スクラッチベーカリー、カフェの経営等を手掛けています。

海外事業

アジアを中心に地域のエネルギーや社会インフラの開発に携わり、セルフストレージ運営や企業投資など、グローバル市場における新しい事業展開を進めています。

電力事業

風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、地球環境改善(CO₂排出量削減)・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。

リビング&ウェルネス事業

保有不動産や遊休地を活かし、オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸や、リビング&ウェルネスをテーマとした商業施設の経営を行っています。

その他事業

事務用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業、コンテンツ事業、デジタルマーケティング事業などを行っています。

環境適応業に相応しい会社であるために、 世の中の変化に合わせて 変わり続けます

CEO MESSAGE



代表取締役社長CEO
田島 晃平

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。株式会社ミツウロコグループホールディングス第115期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の株主通信をお届けいたします。

ミツウロコグループには「ミツウロコは環境適応業である」という言葉があります。創業以来長い年月にわたる主要事業が変わりながらも今まで会社が続けてきた

のは、まさに環境に適応してきたからです。これからもミツウロコグループが発展していくためには、いつの時代も変わることなく、私たちが「環境適応業」の名に相応しい会社であるか常に自問自答し続けることがとても大切です。また、環境適応業として大事な視点は「お客様起点」です。お客様を起点として考え行動することは、常に世の中の半歩先を見通して、商品やサービスをお届けし、

CEO MESSAGE

ひいては世の中が必要とする事業を行うことに他ならないと考えております。

私たちはこれからも「環境適応業」として、世の中が変わり続ける限り、いつの時代も夢に向かって変わり続けます。

第115期の業績について

当連結会計年度における我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化が進んだことにより、個人消費やインバウンド需要の回復など緩やかな景気回復傾向となりました。一方で、ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化などの地政学リスクや加速する円安進行、物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内エネルギー市場においては、世界規模での脱炭素化の要請、自然災害の頻発化・激甚化に伴うエネルギー安定供給のためのインフラ強靱化の要請の高まりに加え、少子高齢化や人口減少による需要変化、コロナ禍における生活様式の変化等が生じ、当社グループを取り巻く経営環境は急速に変化しております。

このような状況下、エネルギー事業者は環境適合、安定供給、経済効率の観点から、サステナブルな社会に向けた低炭素化・脱炭素化、安全・安心な社会に向けたレジリエンス強化、安定供給継続・事業継続に向けた経営基盤の強化等を高度かつ迅速に進めることが必要と考えております。

当連結会計年度の業績としては、過去最高益を記録した前連結会計年度に引き続き、電力事業の高い収益力が連結業績全体を牽引いたしました。当連結会計年度においては更にエネルギー事業とフーズ事業の拡販および収益改善の取り組みも奏功しましたが、一方で電力事業における暖冬や節約志向の高まりによる販売数量の減少や海外事業における一過性の先行投資費用の発生等により、売上高は前期比4.5%減の3,090

億85百万円、営業利益は前期比0.1%増の123億34百万円、経常利益は前期比5.4%減の133億3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比16.9%増の91億7百万円となりました。営業利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、連結会計年度の過去最高益を更新しております。

配当について

当社は、株主への利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、配当性向40%を目処とした上で、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

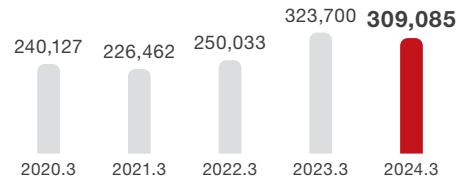
当期におきましては、昨年に引き続き電力事業が業績を牽引するとともに、エネルギー事業、フーズ事業、リビング&ウェルネス事業、その他事業の業績が前年対比改善したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益について、過去最高益を更新しております。

現状の財務基盤を鑑み、株主還元強化および安定した配当政策実施の観点から、当期末の配当金につきましては前年度より4円増配となる1株当たり41円といたします。当期においては、株主還元の更なる充実、資本効率の向上を図るため、自己株式を11億28百万円取得しており、総還元性向は39.1%となります。また、次期の配当につきましても、1株当たり41円を予定しております。当期および次期の配当性向につきましては、40%を下回りますが、これは今後の更なる企業価値向上に向けた投資余力の確保と、安定した配当政策実施の観点によるものです。

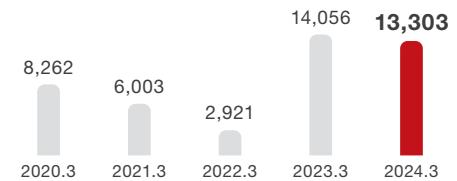
今後も中長期的な視点にたち、成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、持続的な成長と企業価値の向上、株主価値増大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高 3,090億85百万円



経常利益 133億03百万円



1株当たり当期純利益 153.93円



セグメント別売上高

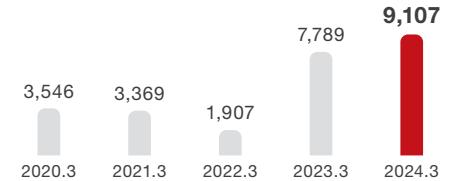


- エネルギー事業 1,467億57百万円
- 電力事業 1,333億65百万円
- フーズ事業 212億85百万円
- リビング&ウェルネス事業 26億71百万円
- 海外事業 26億76百万円
- その他事業 23億27百万円

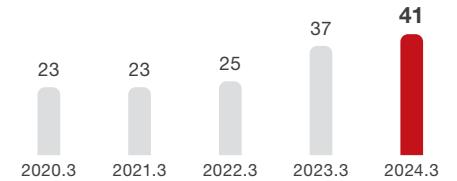
営業利益 123億34百万円



親会社株主に帰属する当期純利益 91億07百万円



1株当たり配当額(期末) 41円



セグメント別資産



- エネルギー事業 505億82百万円
- 電力事業 366億70百万円
- フーズ事業 97億03百万円
- リビング&ウェルネス事業 165億10百万円
- 海外事業 280億79百万円
- その他事業 49億35百万円

豊かなくらしのにないてニュース

系統用蓄電池の運用開始と系統用蓄電所による需給調整市場の参入について

ミツウロコグリーンエネルギー株式会社は、再生可能エネルギー主力電源化の普及および電力システムの安定化に向けた取り組みとして、2023年9月20日より愛知県田原市で、2023年12月15日より仙台市扇町で系統用蓄電池の運用を開始いたしました。

また、日本工営エナジーソリューションズ株式会社と共同で独自にシステム構築した「電力制御統合セントラル(Integrated Power Control

Central)」の需給調整市場機能を用いて、需給調整市場の三次調整力②および三次調整力①の運用を開始いたしました。2024年3月1日より愛知県田原市で、2024年4月1日より仙台市扇町で系統用蓄電池を活用し参入しております。

ミツウロコグリーンエネルギー株式会社は、再生可能エネルギーの導入拡大、システムの安定化に貢献すべく取り組んでまいります。

※三次調整力②:再生可能エネルギーの予測誤差を埋めるための調整力を確保する市場
 ※三次調整力①:ゲートクローズ以降に生じる需要予測誤差および再生可能エネルギーの予測誤差、予期せぬ電源脱落により生じた需要と供給の差異について調整力を確保する市場

シンガポールにおける不動産リースホールド取得

株式会社ミツウロコグループホールディングスは2023年12月15日付で、シンガポールにおいて、36 Kaki Bukit Placeの不動産リースホールドを取得しました。2030年に移転する予定の

パヤレバ空軍基地跡地の再開発を背景に、住居環境等の変化や市場の成長に合わせて、投資ポテンシャルに着目していきます。

MUFG ESG評価 supported by JCRの最高位「Sランク」取得
省エネコミュニケーション・ランキング制度「五つ星」獲得

株式会社ミツウロコグループホールディングスは、「MUFG ESG 評価 supported by JCR」を受け、最高位である「Sランク」(業界をリードするESG経営)の評価をいただきました。

また、ミツウロコグリーンエネルギー株式会社

では、経済産業省・資源エネルギー庁が実施する「省エネコミュニケーション・ランキング制度」の令和5年度評価結果において昨年度に引き続き小売電気事業者として最高評価の五つ星を獲得いたしました。

事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービス「リビング&ウェルネス事業」、「海外事業」、事務機器などのリースや業

を中心に豊かなくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フーズ事業」、業務サポート、保険の取り扱いやコンテンツ制作などを行う「その他事業」を展開しています。

事業概況

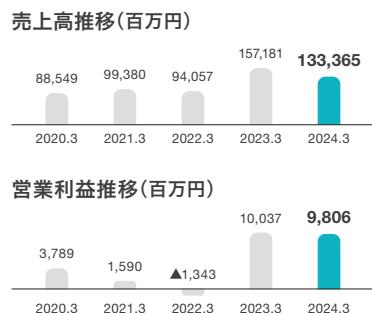
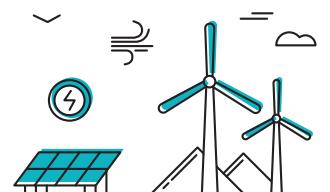
※ 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第113期(2022年3月期)に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

エネルギー事業



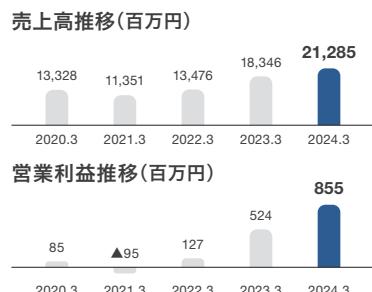
- 🔴 当期のポイント
- LPG販売単価の改善、暖冬傾向のなか、灯油以外の燃料油販売を強化したこと、2024年度以降の物流逼迫を見越してタンクローリーチャーター車両を増車することにより新たな顧客を獲得したことなどにより、増収増益。
 - 新エネルギー事業において、脱炭素成長戦略の重点項目である自家消費型太陽光発電システムの販売を積極的に推進。

電力事業



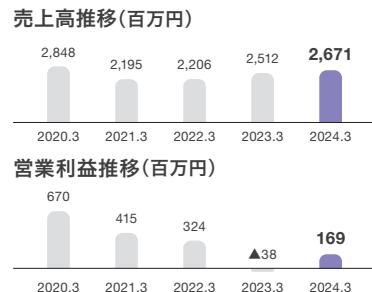
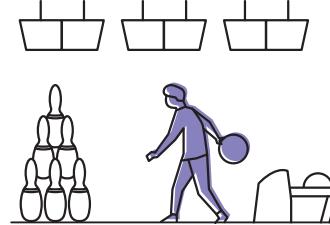
- 🔵 当期のポイント
- 電源調達量に応じた電力供給の実施、また電力卸売市場からの調達依存率の低減、電源調達先の分散化を進展させることで原価変動の影響を抑え安定した収益を計上できるよう取り組んだ。
 - 今冬の暖冬および節電意識の高まりにより、営業利益は前期比2.3%減となったが、前期に引き続き高水準を維持し、全体の業績を牽引した。
 - 再生可能エネルギー主力電源化の普及および電力系統の安定化に向けた取り組みとして、系統用蓄電池の設置、運用を開始。「電力制御統合セントラル」の需給調整市場機能を用いた運用を開始。

フーズ事業



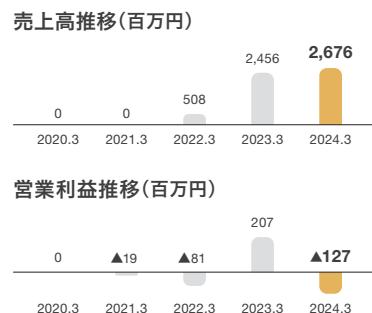
- 🔵 当期のポイント
- 飲料水事業において、庵原工場の一部設備更新による一時的な操業停止等があったものの、積極的な営業展開による販売数量拡大により製造原価高騰の影響を低減させたことにより増収増益。
 - ミネラルウォーターの販売数量について、クライアントの旺盛な需要増の取り込みに成功したこと、庵原工場(静岡県)にて増強した製造能力が功を奏した結果、前年比117%と大きく増加。

リビング&ウェルネス事業



- 🔵 当期のポイント
- 2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行から半年以上が経過し、レジャー・サービス業における消費は好調に推移しており、スパ・ピナス、ハマボールともに入館者数・売上は順調に回復。不動産事業では「桜樹高山」の稼働や、共用部および一部居室のリノベーションが完了した「VIP仙台二日町」が稼働率向上に貢献し増収増益。
 - スポーツスタジオ「EIGHT ANGLE」において、バラエティに富んだコーチ陣による完全マンツーマンのゴルフレッスンが好評。

海外事業



- 🔵 当期のポイント
- 当事業では主として、General Storage Company Pte. Ltd. 他6社がアジア地域においてレンタル収納事業を行っており、円安の影響等により増収となった。
 - 新たな投資案件として、バヤレバ再開発計画エリア内でシンガポール中東部に位置する36 Kaki Bukit Placeの不動産リースホールドを取得。
 - 同不動産リースホールドを取得したことによる租税等の費用が発生した影響等により、1億27百万円の赤字となった。

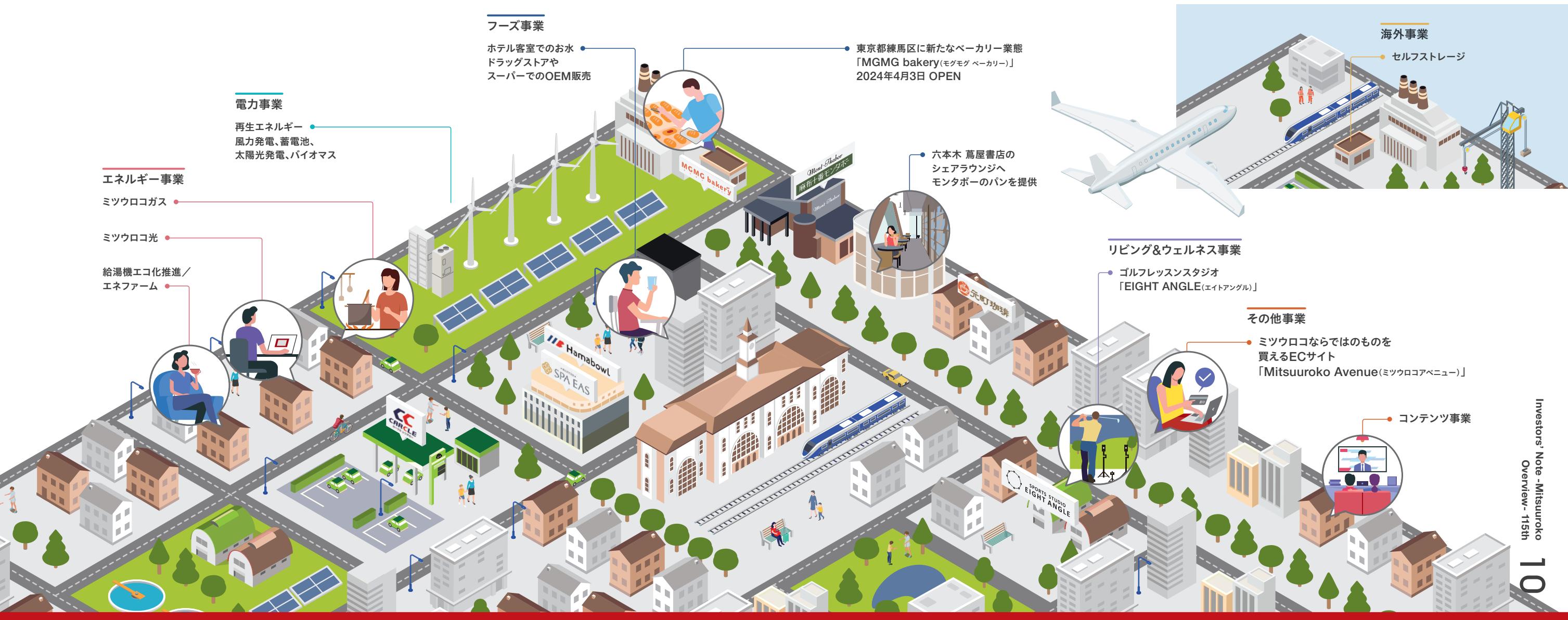
その他事業



- 🔵 当期のポイント
- リース事業の売上高の増加等により増収増益。
 - LPガス管理販売システム「COSMOSシリーズ」、集合住宅インターネットマンションサービス「ミツウロコnet」の販売が堅調に推移。
 - リース事業において、脱炭素機器の普及促進による地球環境の保全を目的とした指定リース事業者に選定されており、サプライチェーン全体での脱炭素化を目指す中小企業に向けてリース事業の面からサポート。
 - コンテンツ事業において、「この動画は再生できません」シリーズを中心として映像配信の売上が順調に推移。

こんなところにミツウロコ

わたしたちミツウロコグループは、皆様の生活に欠かせないエネルギーや生活周辺サービスを提供しています。ぜひ、街中のミツウロコを探してみてください。
これからも、時代を担う子どもたちのため、地球のため、資源と環境をしっかりと見つめ、お客様一人ひとりの豊かな暮らしづくりのために挑戦し続けます。





まつもと かつひろ
松元 克央 選手

自分らしい泳ぎで頂点を。 弱さを受け入れた「強さ」で 目標達成を目指す。

INTERVIEW

ケガをしても勝てたことが大きな「自信」に

まずは日頃からサポートしてくれているミツウロコグループの皆さんを始め、応援してくださる全ての方に心から感謝申し上げます。

私は天才型のスイマーではありません。ライバルよりもはるかに厳しい練習を重ねて肉体改造に取り組み、ようやく同じスタートラインに立つことができました。しかも今季は試合直前に肩を痛めてしまったこともあり、「練習できなかったことで、ラストでバテしてしまうのではないか」「年齢的にも次はないかもしれない」と多くの不安を抱えていました。

ただ、それらの不安に打ち勝てたことで、コツコツと積み上げてきた努力が「自信」へと変わり、周りの方々の期待に応えるチャンスを得られたことへの「安心感」と、夏までにさらに練習すれば世界のトップ選手と互角に戦えるのではないかという気持ちが日増しに強くなっています。

インタビュー

水泳を通じてかけがえのない仲間と出会い、 たくさんのことを学んだ

私が水泳を始めたのは兄の影響です。父は野球、母はソフトボールというスポーツ一家に育ったこともあり、スポーツをするのは必然でした。兄の真似をしてみずは水泳を始めました。ほぼ同時に野球も始めましたが、あまり好きにはなれず、スポーツを続けて欲しいという両親の希望に応えるために、消去法的に選んだのが水泳でした。

「継続は力なり」とはよく言ったものです。続けてきたからこそいい仲間恵まれ、水泳を通じて様々な立場の方々との出会いがあり、お付き合いの仕方も学ぶことができました。余談ですが、兄も高校時代まで全国大会に出場するほどの選手だったにもかかわらず競技をやめたのは、成長した僕に一気に追い越されたからだと話してくれたことがありました。兄の分もがんばりたい、この思いも間違いなく私が水泳を続けている原動力です。

挫折のあと、優勝経験者との練習で 水泳との向き合い方が変化

大きな挫折もありました。期待された過去の大会では優勝どころか決勝に進むこともできず、終わった後1年近くはモチベーションもなかなか上がらない日々の中、練習をしていました。気持ちが切り替わったのは、世界水泳に出場した時でした。全く歯が立たず、力の差を見せつけられてようやく目が覚めた私は、試合で100%の力が出し切れなかったとしても、80%の力で表彰台に立てるくらいまで強くなってやろうと前向きに考えられるようになりました。

真の転機が訪れたのは英国で優勝経験者と一緒に練習した時です。優勝を経験している彼はそれを鼻にかけることもなく、本当に「いい人」でしかも「普通の人」でした。水泳だけを突き詰めているのではなく、うまく気持ちを切り

替えながら自然体で生活していることにも驚かされました。

起きてから寝るまで水泳のことを考え、休みの日も水泳のために身体を休めることを優先してきた私の対極にいる彼を見て、人生を競技だけに費やしている人だけが勝者になれるわけではないのかもしれない、自分にもチャンスがあり、彼のようにもっとリラックスして楽しむように水泳と向き合ってもいいのではないだろうか、というように考えが変わりました。

限界を超えるような厳しい練習をする一方で、友人と会って話をしたり、食事をしたりする時間は、思っていた以上に練習への集中力を高め、効果も上げてくれます。もし、水泳がキツいと感じていた頃の自分に会えるとしたら、「生活の全てが水泳のためではダメなんじゃない?」と言ってあげたいです。

感謝の気持ちを伝えるために泳ぐ。 楽しむ姿を見てほしい

よく「継続できるコツ」は何かと訊かれますが、その答えは「無理をしないこと」だと考えています。筋トレやマラソンなど初日から無理をすると、次の日がつらくなりますが、そうならない量や時間で毎日毎日続けることが重要です。そしてもうひとつは、毎日見える場所、例えば、スマートフォンの待ち受け画面に目標を書いているのでしょうか。その目標を目にするたびに目標を決めた理由を思い出し、前向きになれるはずですよ。

ちなみに私が書いている目標は「表彰台」です。私にとって水泳は、お世話になった方々や応援してくださった皆さんへの感謝を伝えるツールであり、多くの方に勇気を与えられるチャンスでもあります。世界に挑み、目標を達成した姿をひとりでも多くの方にお見せできるよう、精一杯がんばります。そして、落ち着いたら、最高の気分で一月くらい休むを取り、大好きな旅行やゴルフを思う存分楽しみたいと思います。

会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社(グループの経営戦略・経営管理)
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年(大正15年)5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	27名/連結1,753名(2024年3月31日現在)

役員		(2024年6月18日現在)
代表取締役社長 CEO	田島晃平	
取締役 社長補佐(グループファンクションズ) コーポレートセクレタリー	児島和洋	
取締役 社長補佐(グループシナジー)	松本尚志	
取締役	坂西 学	
取締役	川上 順	
取締役	大森基靖	
取締役 CTO、CIO、GCIDO	ゴ ウィミン	
取締役(社外)(独立)	松井 香	
取締役(社外)(独立)	河野義之	
監査等委員である取締役(社外)(独立)	菅原英雄	
監査等委員である取締役(社外)	田嶋 圭	
監査等委員である取締役(社外)	塩原規男	

株式の状況		(2024年3月31日現在)
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	60,134,401株	
株主数	4,672名	

上位株主

(2024年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	4,990,000	8.41
田島株式会社	4,327,000	7.29
ENEOSホールディングス株式会社	3,814,040	6.43
損害保険ジャパン株式会社	3,681,173	6.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,323,400	5.60
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口	2,960,600	4.99
リンナイ株式会社	2,694,064	4.54
橋本産業株式会社	1,926,500	3.25
全国ミツウロコ会持株会	1,707,084	2.88
株式会社バロマ	1,685,124	2.84

(注) 1. 当社は自己株式を819,679株(株式給付信託(BBT)に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社の株式520,300株を除く)保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託(BBT)に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、発行済株式総数から控除する自己株式からは除外しております(2024年3月末520,300株)。

分布状況



会社概要・株式の状況

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.mitsuuroko.com/)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324(未払配当金の受領など)	
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取および買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)	
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店、みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。